

学校教育目標	
『自らの生き方を切りひらく子どもの育成』～やさしさ いっぱいかがやく えがお～ 【知】自分らしさを発揮する子どもの意欲を引き出すようにします。 【徳】信頼と思いやりをもって、共に生きることのできる素晴らしさを実感できるようにします。 【体】自ら進んで心を育て、体づくりができるようにします。 【公】豊かなかかわり合いを通して、主体的に行動する力を育んでいきます。 【関】地域を愛し、地域に学ぶ姿勢を大切にします。	
教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	
〈自分づくりに関する力〉 〈情報活用能力〉 〈言語能力〉	具体化した資質・能力 ○他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 ○課題解決に必要なものを選択する力 ○感じたことを言葉にする力 ○相手の思いを受け止めて聞く力
中期取組目標	
○感じたことを言葉で伝え、相手の思いを受け止めて聞く子どもを育てます。 ○目的に合った情報を取捨選択し、活用しようとする子どもを育てます。 ○自分や友達の心や身体を大切にすることのできる子どもを育てます。 ○子どものまちへの思いを引き出し、地域と連携しながら、人と関わろうとする子どもを育てます。	

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
授業改善	『子どもの主体性を育み「できる・わかる・やってみたい」を 引き出す授業づくり』を目標に掲げて取り組む。子どもの主体性を育むための手立てを考えたり、よりよい授業を目指すために教職員全体で授業改善に取り組んだりする。
担当	推進部

学力向上に関わる本校の状況		今年度の目標	
(1)児童アンケートの推移より ・「先生の授業は、工夫して分かりやすかったので、勉強を頑張ることができた」「前よりも見通しをもち、いろいろな場面で自信をもって学習に取り組むことができた」の項目が80%以上と高い値だが、前年度と比べて下がっている。 ・すすんで学習に取り組んだり、考えたことを発表したり、文で表したりすることができる児童が70%付近で滞っている。		子どもの主体性を育み 「できる・わかる・やってみたい」を引き出す授業づくり	
目標を実現するための具体的行動プラン			
上半期	○子どもの主体性を育むために 「できる・わかる・やってみたい」を子どもたちから引き出せるような授業づくりに取り組む。子どもたちが学習の主体となって授業に取り組んでいくために、子どもたちに合わせた教材や授業形態の工夫、山下小学校の地域や特色を生かした授業づくりをする		
	○よりよい授業を目指した取り組み ・研究主題として『子ども主体性を育み「できる・わかる・やってみたい」を引き出す授業づくり』を掲げ、学年や学校全体で授業づくりや授業改善に取り組んでいる。主題を達成するために、日頃から学年で教材研究を行い、実践を重ねていく。また、教職員同士で互いの授業を見て学び合ったり授業について省察をしたりする場を年間を通して設ける。		
下半期	○これまでに学校の取組状況 ・昨年度まで、「個別最適な学びを取り入れた授業の模索」をテーマに授業を行ってきた。達成のために手立てを講じたことで、子どもたちが学習のねらいに向かって活動を自分で進めたり、子どもたち同士で協働的な学びが生れたりする場面が見られた。一方で、学びのコントローラーを自分たちに委ねられることに不安を感じたり、自分たちが「やりたい!」「分かったい!」と目標をもって学ぶ意欲を十分にもって学ぶことができていないことが(1)のアンケートから分析できる。		

前よりも、見通しをもち、いろいろな場面で自信をもって学習に取り組むことができた。

R7

R6

R5

R4

100%

75%

50%

25%

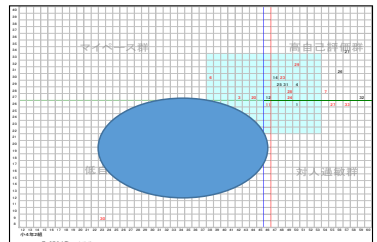
0%

いよいよ、自分から積極的に取り組むようになった。

・昨年度まで、「個別最適な学びを取り入れた授業の模索」をテーマに授業を行ってきた。達成のために手立てを講じたことで、子どもたちが学習のねらいに向かって活動を自分で進めたり、子どもたち同士で協働的な学びが生まれたりする場面が見られた。一方で、学びのコントローラーを自分たちに委ねられることに不安を感じたり、自分たちが「やりたい！」「分かりたい！」と目標をもって学ぶ意欲を十分にもって学ぶことができていないことが(1)のアンケートから分析できる。

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
人権教育	①子どもたちの変化に気付き、困り感に寄り添うためにICTを効果的に活用し、実態把握、学習支援に取り組む。学校全体で児童理解を進め、子どもの自尊感情を育む。②規範意識や人権を尊重する心、社会参画意識をさらに高めるために人権について考え、自らのテーマを定めてしっかり振り返りを行う。③よりよい学校生活をおくるために、学校スタンダードの見直しに児童の声を反映させる。④外国につながる児童の学習保障と、校内の多文化共生の視点から、人権意識を高める。
担当	経営部

豊かな心に関わる本校の状況		今年度の目標	
(1)豊かな心に関わる児童の実態 ・YPアセスメントシートの結果より、低自己評価群に位置する児童が多く見られる。そのため、子どもたちの日々の変化に気付いたり困り感に素早く対応したりするために、ICTを活用しながら「自尊感情を育む取組」を各学年で取りため、「だれもが」「安心して」「豊かに」過ごせるよう人権教育の充実を図る。 		自尊感情を育み、 「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指す	
目標を実現するための具体的行動プラン			
上 半 期	1 人権尊重の精神を基盤とする授業づくり ・子どもの困り感に寄り添うための実態把握、環境整備、学習支援 ・スタートプログラム、子どもの社会的スキル横浜プログラムを参考にした授業実践 ・子どもの実態を把握し、効果的に素早く対応するためのICT活用 2 他者の思いに寄り添う心情を育む取組 ・全校でのなかよし班活動、ペア学年での取り組み、学年内での実行委員、各クラスの係活動 ・各学年の実態に応じた、地域の方とのふれあい ・学校スタンダードの見直しに児童の声を反映させるため、代表委員会などで話し合う機会を設ける。 3 子どもの学びを深める人権学習の計画 ・YPアセスメントシートを分析し、よこはまプログラムを活用した人権学習の授業を時期に合わせて意図的に行う。 4 だれもが安心して豊かに生活できるように、特別支援教室の環境を整備する。 5 教職員の人権意識を高める校内研修計画 ・継続的な校内研修の実施(5月～12月) (YPアセスメント研修、体罰防止研修、いじめ防止研修など)		
	下 半 期	(2)これまでの学校の取組状況 ・なかよし班活動、学年内での実行委員、各クラスの係活動などを通し、人との関わりをもち、自己有用感や達成感を育むことで、自尊感情の高まりを高めることができた。高学年では、他者への思いやりの気持ちが育つことで必要感が感じられ、社会に貢献している実感が得られた。 ・人権週間に合わせて、学年やクラスの実態に応じた授業実践や振り返りを行った。また、いじめアンケートを活用し、だれもが安心して生活できる場をつくってきた。 ・学年内やブロック内でYPアセスメントシートを分析し、日々の教育活動に活用した。 ・学校スタンダードの見直しを年度末に子どもたちと行うことで、社会参画意識の高まりにつなげることができた。引き続き次年度に生かしていきたい。	

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	①健康な心と体の育成を図るため、全校で取り組むことができる活動を子どもたちの声を取り入れて計画する。②給食時間や各教科における食に関する指導、いのちの教育を計画的に実施する。③子ども一人ひとりが自身の生活を振り返り、規則正しい生活習慣の大切さに気づき実践することにつなげる。
担当	安全部

健やかな体に関わる本校の状況		今年度の目標	
(1) 朝の健康観察、保健室来室状況より		危機管理意識を育み、自分や友達のからだを大切に児童を育てる	
病欠席は平均すると毎日2%前後で推移し、インフルエンザなどの感染症が流行するシーズンにおいても同時に3クラス以上の学級閉鎖にはならなかった。一昨年、感染性胃腸炎について区の福祉保健センターの指導を受けた際も、1週間に満たない間に収束宣言を出していただいたことから、比較的健やかな体で、日々の学習・教育活動に取り組めていると考えられる。 けがについては、体調不良での来室の2倍以上ある。また、放課後や休日に骨折等のけがをして登校することも目立つ。スポーツ振興センターのデータと比較しても登下校中のけがが多い状態である。 学習中か休み時間に関わらず、転倒による擦過傷や打撲、次いで不注意で何かにぶついたり、友だちとぶつかったりによる痛み、打撲が多い。首から上の怪我で放課後、家庭へ連絡しない日は少ない状況である。		目標を実現するための具体的行動プラン	
		上半期	〈学級活動〉 ・子どもが学校生活を送る中で、怪我をする可能性がある場所には、ポスターを掲示するなどし、注意喚起を行う。子どもが日常的に怪我の予防に努められるよう、教員からの指導を定期的に行う。保健学習では、過去に自身が怪我をした場所等を想起し、その予防方法について考えるなど、自分事として考えられるよう授業づくりの工夫をする。 (学校保健委員会) ・安全に学校生活を送ることをテーマに、登下校や学習活動中にどんなけががどれくらい、どこで起こっているのかを知る。 ・けがをしないためには、どんな行動、どんな生活習慣を意識すればいいのかを考え、児童の声をとりいれながら年間を通して取り組む。 ・けがの予防を通して、自分のからだづくりについて何が大切かを気づけるようにする。
		下半期	